

芭蕉が聴いた音

私に聞こえる音

「日本古典文学の解釈と共有知」

話し手

南陽子さん

北海道大学 大学院文学研究
院 日本古典文化論研究室 准教授「日本近世文学」

2024
7/28(日)
15:00 ▶ 16:30

会場

紀伊國屋書店札幌本店
sapporo55ビル インナーガーデン (北5西5)

開催形式

対面開催 定員70名
イベント終了後のオンライン視聴あり

お申し込み

申込締切: 2024年7月26日 (金) 17:00

2種類の申込方法があります。右のQRコードからホームページへアクセスし、
いずれかでお申し込みください。遠方在住の方や、当日都合により参加できない方は、
事後視聴にてご参加ください。

要申込・先着順

参加費
無料



当日会場参加の方、
事後視聴の方、いずれも
ホームページの
フォームより
お申し込みください。

芭蕉が聴いた音

私に聞こえる音

ー 日本古典文学の解釈と共有知 ー

わずかに十七文字で綴られた、ハイクという文芸。

紙とペンだけで始められるこの最も小さな文学は、三〇〇年以上に渡って、日本の四季の移ろいを切り取り、生活の中の様々な情感を表現してきました。

十七文字で描かれたある光景を通して「私」に見えているものは、隣の「誰か」が見ているものと、果たして同じものだったでしょうか。自明に見えた、そのひとと言ひと言の前で足を止めてみると、思いがけず全く違う風景が見えてくるかもしれません。無数に枝分かれする解釈が示すものは、白？黒？それともグレー？

たとえば芭蕉の描いた音風景が、何を奏でていたのか。

わずか十七文字の言葉から、どんな音が響くのか。耳を澄まして聴いてみてください。

話し手のプロフィール

みなみ よつこ

南陽子さん

北海道大学

大学院文学研究院

日本古典文化論研究室

准教授

〔日本近世文学〕



一九七九年大阪府生まれ。早稲田大学教育学部研究科博士課程修了、博士(学術)。早稲田大学助手、早稲田大学ほか非常勤講師等を経て、二〇一三年より北海道大学文学研究院准教授。専門は日本近世文学。

北大人文学 カフェとは

人文学Cafe

北大人文学カフェは、北海道大学 大学院文学研究院・文學院の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。

内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文社会科学研究の楽しい話題を通して、みなさんと北大人文学研究院との交流を深めていくことを目指しています。

<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe>

お問い合わせ先

北海道大学 大学院文学研究院 研究推進室

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

TEL/011-706-4083 Email/kenkyu@let.hokudai.ac.jp